

シリーズ 学校最前線

大阪府立東百舌鳥高等学校 日本教育工学協会の学校情報化優良校に再認定

大阪府立東百舌鳥高等学校 稲川 孝司



はじめに

平成三十年四月に大阪府立東百舌鳥高等学校(校長・石田利生)は、日本教育工学協会(JAET)の学校情報化認定事業において三年間の「学校情報化優良校」に再認定されました。

東百舌鳥高校は平成二十七年に大阪府立の高校として初めて「学校情報化優良校」に認定されて三年間が過ぎ、今回申請をして再認定を受けました。



学校情報化認定事業について

文部科学省は「教育の情報化ビジョン」を基に教育の情報化を推進し、中教審の第二期教育振興基本計画においても、確かな学力を身に付け新たな学びを実現する方策としてのICT活用を位置づけています。

そこで教育の情報化の推進を支援するために、日本教育工学協会が学校情報化診断システムを開発し、それを活用して情報化を進めている学校を認定する学校情報化認定事業を平成二十六年から行っています。

情報化の推進体制を整え、教科指導におけるICT活用、情報教育、校務の情報化に積極的に取り組んでいる学校を、学校情報化優良校として認定しています。

教育の情報化の必要性

平成三十年三月に高等学校の学習指導要領が告示されました。その第三款の教育課程の実施と学習評価の中に、「情報活用能力の育成を図るため、各学校において、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図ること」と書かれており、主体的・対話的で深い学びの視点からICT機器を活用した授業を行うことが推奨されています。

東百舌鳥の教育の情報化

①校内推進体制 一部の教員のみがICTを活用した授業を行うのではなく、

データを入れたUSBメモリを接続することができます。教員には一人一台のiPadを割り当てています。また生徒用のiPadが約百五十台あり、様々な教科において協働学習や個別学習、発表で活用しています。



ICT環境と教室での授業

玄関にはデジタルサイネージを設置し、外来者並びに生徒向けの画像データを配信しています。また、複数人が座り合体できる台形の机を用意したマルチメディア教室や、可動式の机を用意したアクティブラーニング

教室を新設して、ICT活用環境を組織的に整備しています。しかし、ICT環境構築に特別の予算があるわけではありません。普通教室のプロジェクトは創立四十周年記念事業の一環として同窓会とPTAからの資金援助(六百七十五万円)を受けて設置しました。その他の物品も前述の研究指定事業の支援を受けて設置しています。



アクティブラーニング教室での授業

③ICT教育推進室の設置 学校全体で教員や生徒がICTを積極的に活用するために、

ICT関連の仕事を校務分掌として位置づけ、分掌の共有資料を作ることを目的に「ICT教育推進室」を新設しました。

機器の管理運営や機器の操作等の研修を行い、ICT活用の支援を行うこと、教員のICT活用率を上げること、校務支援システムを教務部や進路指導部と連携してスムーズな運営の方法をさぐることを、クラッシーの有効活用などを目標に活動を行っています。

ほぼ毎月教員向けの研修を行い、ICT活用のメリットを伝えて活用方法の講習を行った結果、教員ならびに生徒の情報機器の利用回数が増加し、教育の情報化が進みました。

④教科指導におけるICT活用 ICTをあまり活用していない教科に対しては、情報科との教科横断型の授業を行い、少しずつ教科単独で実施できるように持って行きました。

おわりに

ICT活用をどのように進めれば良いかや全体的にどこが弱

学校全体で教員と生徒がICTを活用するために、国や教育委員会、教育支援団体などの各種研究助成に積極的に申請し、研究体制を作り、全員協力してICT化を推進してきました。

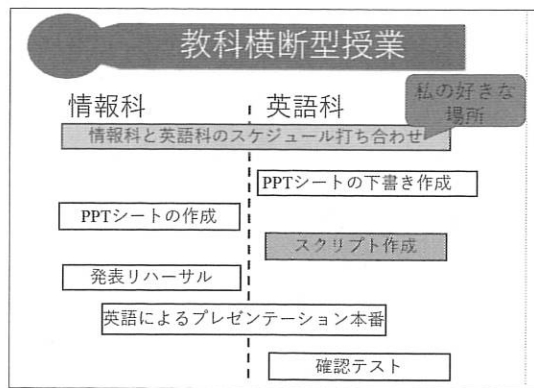
平成二十三年度から三年間の大阪府教育委員会の「使える英語プロジェクト」、平成二十五年年度文部科学省教育課程研究指定校「情報」、平成二十七年から二年間のパナソニック教育財団特別研究指定校「ICTを活用したアクティブラーニングの実践と評価」、総務省先導的教育システム実証事業などの研究や実践授業を行ってきました。

平成三十年度は文部科学省教育課程研究指定校「総合的な学習の時間」の二年間の研究を行っています。

②ICT環境の整備

機器を常設することが重要なので、全普通教室に電子黒板機能付きのプロジェクトとApple TV、無線LAN環境を整備しています。プロジェクトにはHDMI、RGB、画像

教科横断型授業



情報科と英語科の教科横断型授業例

点かが、学校情報化診断システムを活用して客観的にわかり、学校の情報化を進めることができ、優良校に再認定されました。平成二十九年五月に全国高等学校校長協会総会・研究協議会で発表したこともあり、平成二十九年度は全国から三十七校の学校視察がありました。

今後、教員や生徒の情報活用能力のさらなる育成を図るために、邁進していきたいと考えています。